

民家を生かす、地域をおこす

今年のフォーラムの舞台は、豊かな緑と水に恵まれた美しい福島県。農山村や町並みに民家がいまだ数多く残り、茅葺き民家の数では日本一を誇っています。しかし、農林業の衰退による人口減少に伴って、農山村では空き家が増え、限界集落の声も聞かれる今日です。

地域の人々の知恵と力を結集し、暮らしの文化としての民家を生かすことにより、美しい村づくり、住みよいまちづくり、地域の活性化につなげていきたいと考えます。各地の取り組み事例に学び、「民家を生かした地域おこし」について考えようではありませんか。

民家フォーラム 2009 日程

第1日 10月24日(土) 10:00~16:30

会場 安積歴史博物館

◎参加費 1,000円

■シンポジウム 12:30~16:30 (12:00 開場)

民家を生かす、地域をおこす

12:30 開会

12:35 主催者あいさつ JMRA 代表理事 佐藤彰啓

12:45 民家再生奨励賞表彰

13:05 基調講演「イギリスには、限界集落はなかった！」



犬伏武彦氏 (いぬぶせ・たけひこ)

1941 年大阪府生まれ。松山東雲短期大学生活デザイン専攻教授。歴史的建築物の研究調査、保存活動に関わっている。重要文化財・本芳我家住宅、重要文化財・道後温泉本館保存修理検討委員長などを務めるほか、民家、庵、寺社建築の保存修理工事監修・活用に従事する。

14:50 事例報告

1. 民家を福祉施設の集会所に 松浦猛将氏 (とかみ共生苑)

2. 蔵を生かしたまちづくり 江花圭司氏 (NPO 法人まちづくり喜多方)

3. 民家トラストで介護・教育施設に活用 山田哲矢氏 (和のいえ櫻井)

15:50 意見交換

コーディネーター 清沢和弘 (JMRA 会員)

16:30 閉会

■パネル展示、曳家実演、民家再生相談など

10:00~16:30

第2日 10月25日(日)

■オプションツアー

◎参加費 各 6,000 円 (貸切バス代、高速代、昼食代、保険料を含む)

A コース 蔵のまち喜多方を巡る

7:30 JR 郡山駅に集合→大善蔵座敷→若木商店→安勝寺
→大和川酒造北方風土館→島新 (三十八間蔵)→冠木薬局
→志ぐれ亭 (昼食)→新宮熊野神社 長床

16:30 JR 郡山駅にて解散

B コース いわきの民家を巡る

7:30 JR 郡山駅に集合→いわき平窪にて民家見学
→いわき市暮らしの伝承郷→塩屋崎灯台
→豊間・玉屋 (昼食)→白水阿弥陀堂 (国宝)

15:30 JR 常磐線湯本駅にて解散



喜多方・おたづき通り



いわき市暮らしの伝承郷

●お問い合わせ、参加申込はこちらへ

特定非営利活動法人



日本民家再生協会

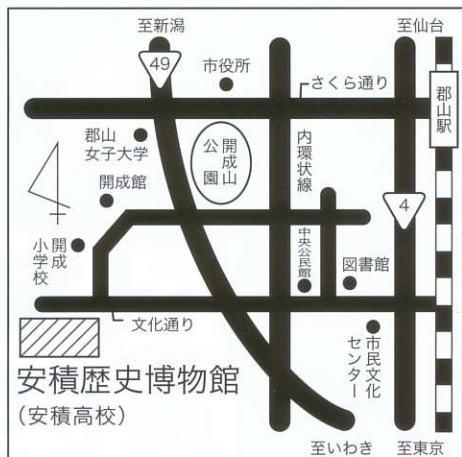
JAPAN MINKA REVIVAL ASSOCIATION

〒102-0085 東京都千代田区六番町1-1

電話 03-5216-3541(代) FAX 03-5216-3542

http://www.minka.jp/

今春、旧「日本民家再生リサイクル協会」より名称を変更しました。



会場案内
福島県郡山市開成五・二五・六三
JR 郡山駅よりバス約十五分、安積高校下車

参加申込書

ファクスまたは郵便にて申し込みのうえ、郵便振替口座 (00190-0-396443 日本民家再生リサイクル協会) に参加費をお払いください。

氏名

会員番号

住所

E-mail

携帯電話

電話

参加費 (該当する□に✓を)

FAX

合計

□ シンポジウム

1,000 円

□ OP ツアー

A・B (どちらかに○を)

6,000 円

円